

「コレド阪本」の実践発表

中央区立阪本小学校

中央区立阪本小学校 明治6年創立



阪本銀行



- 第1次
お店をつくらう
仕入れ
製造
販売
宣伝



■ 第2次

お店を開こう

縦割りの9つの

お店

手作りの物売る

仕入れ、制作、販売、
役割分担



阪本マネーを使った仕入れ

・1つの店あたり
1000両が

開店資金

商品作りに必要な材料
商品の個数
宣伝に必要な材料
お店のレイアウト
値段の設定

?

段取りと材料そろえ
岸本商店
担当指導者
保護者ボランティア
主事



第3次 品物を作ろう



ろうそく作り



第4次 品物を売ろう コレド阪本オープン



保護者

1両 = 10円

100両まで購入



児童

100両を買い物
券として使用

学習の成果

- 「コレド阪本」の開店

生産する商品・店名・価格設定

原材料の仕入れ・店の立地・レイアウト

商品の製作・宣伝の工夫・売り上げ計算



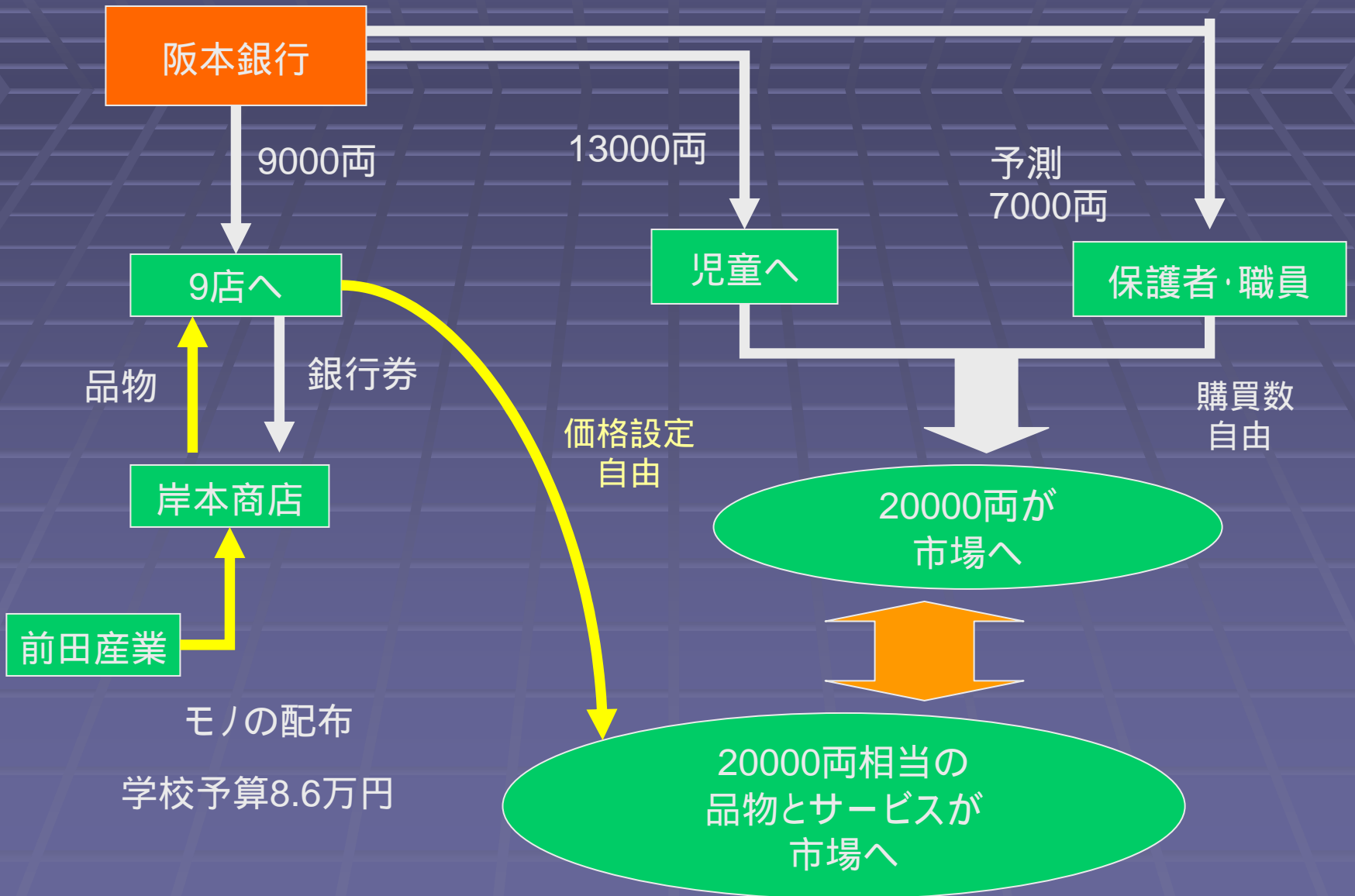
教材化

経済の基礎的な学習

課題

- 阪本マネーの流通 額の設定の
難しさ
 - インフレーションの可能性
- 経済の動きを単純化して
子どもたちに示すことの難しさ
- 貸し出しや金利について扱うこと
の難しさ

コレド阪本・銀行券のフロー図



インフレ と デフレ

■ インフレ懸念 = モノ不足

■ デフレ懸念 = モノ余り

インフレ と デフレ

	インフレ	デフレ
購買者	多い	少ない
購買意欲	高すぎる	低すぎる
品物 サービス	生産量が減る	生産量が多すぎる
価格設定	低すぎる	高すぎる

⑩受付金銭の流れ報告

ア 阪本銀行券の発行

100両×99=9,900両

イ 阪本銀行券払い戻し

5両×163枚=815両

10両×32枚=320両

20両×13枚=260両

合計1,395両

ウ 現金保有数

10,000円×3枚=30,000円

5,000円×1枚=5,000円

1,000円×48枚=48,000円

500円×1枚=500円

100円×10枚=1,000円

50円×8枚=400円

10円×4枚=40円

5円×1枚=5円

合計 84,945円

エ 現金の流れ

	収入	支出
阪本銀行券発券	99,000	
払戻金原資確保両替手数料		105
未使用券払戻金		13,950
現金残額		84,945
	99,000	99,000

コレド阪本売上金分配表

班	屋 号	売上高	配分率	分配金
1班	ゲームしゃてき	2505	12.49%	10,608
2班	飴天	1425	7.10%	6,034
3班	SAKAMOTOカフェ	2880	14.36%	12,195
4班	キャンドルパーク	1795	8.95%	7,601
5班	久二家	3145	15.68%	13,318
6班	にこにこショップ	1875	9.35%	7,940
7班	ストラックルーム	2050	10.22%	8,681
8班	ハロポポ	2370	11.81%	10,036
9班	校長先生も喜ぶゲーム屋	2015	10.04%	8,533
		20060		84,945

オ コレド阪本出店に係る新規の物的必要経費

材料費等

86,289 円